

校長室の窓からNo. 12 (H28.12.20)

シリーズ (「ふるさと=夢を育む十勝の大地」・・・最終回)

「ふるさと=夢を育む十勝の大地⑥」

～ふるさと「帯広・十勝」の特色(5)～



幸福駅、愛国駅、大正駅をはじめ、廃線となった広尾線の各駅にも特色があります。この広尾線もセットにして、一大観光地になっていくことを心より願っています。

帯広の観光スポットの第二は、世界で唯一のばん馬競馬「ばんえい十勝」となります。

体重1トンを超える重量馬が重りを乗せた鉄ソリを引いて直線コースを力とスピードで競い合います。現在、「ばんえい十勝」の場内では、十勝の食材が楽しめる産直市場やレストランを有する「とちらむら」をはじめ、体験やご当地グルメを満喫する代表的な複合観光スポットとなっています。広大な駐車スペースも完備されています。



帯広の観光スポットの第三は、「おびひろ屋台村(北の屋台)」です。帯広駅からほど近い「おびひろ屋台村(北の屋台)」は、市街地の空洞化対策と商店街の活性化をコンセプトにして、2001年7月にスタートしたところです。また、屋台といっても、半露店風の飲食店として非常に珍しく有名な場所になりつつあります。そこは、食糧自給率が1100%となっている十勝の新鮮な食材を使った料理が並び、いつも地元の人々や仕事や観光に訪れた方々で賑わい、情報交換の場、新文化の発祥の場などになっています。



(写真は帯広市HPより提供)

前述の通り、「帯広・十勝」は、晴天率の高さを利用して、ロケット開発地域(大樹町)に指定されたり、太陽光発電に適

した地域でもあります。特に、本年の11月9日に成立した宇宙活動法は、国の基準を満たせば、民間にも人工衛星の打ち上げが認められるとされています。宇宙のまちづくりを進める大樹町での実験の活発化や関連産業の集積化など期待されてきます。

また、最近、北見工業大学の研究により、十勝沖にはメタンハイドレートが豊富に存在することが明らかになりました。メタンが気泡となって上昇する「メタン湧出フレア」がいくつも確認され、メタンの分解で生じる鉱物さえも発見されています。その場所は、

十勝沖約80キロで水深は500～2000mのところにあります。音波探査で海底地形を観察し、メタン湧出フレアは、高さ約700mとなる巨大なものなど、約20本が発見されています。もったいないと思えるほどの相当な量の湧出です。

そのため、近い将来、ここ十勝を重点地区として、宇宙産業やエネルギー産業へと発展する可能性があります。さらに、エレクトロニクス産業や設備関連産業をはじめ、関連産業の進出もあると思いますので、経済効果も増すと考えます。

その他、帯広の森地区（芽室町）には、世界選手権や冬季オリンピックでスピードスケート競技が開催される屋内スピードスケート競技場（明治北海道十勝オーバルスピードスケート競技場）をはじめ、本格的な競技施設が密集しています。この地から、各種の全国大会・世界大会に優秀な選手を数多く輩出しています。また、市の周辺は、芽室町のゲートボール、幕別町のパークゴルフ、大樹町のミニバレーなど、ニュースポーツ発祥の地としても有名です。これらの地では、全国大会や世界大会が開催され、帯広・十勝が益々認知され、よさや特色を見直されるのも大変嬉しく思います。

また、十勝川温泉のように、世界的にも有名なモール温泉（美肌効果があるとされている植物性温泉）も海外の観光客から認知されつつあります。実際、台湾等の海外の観光客を乗せた観光バスで、十勝川温泉⇒ばんえい十勝⇒愛国駅・幸福駅というルートも定着されつつあります。さらに、ロシアや北欧等、世界で数か所しかないとされている釧路・阿寒湖のマリモ（近年の研究（アイスランドのミーヴァント湖のマリモ遺伝子と阿寒湖のマリモ遺伝子の一致等）によりますと、原産が阿寒湖のマリモで、その多くが野鳥によりロシアや北欧に運んだものとされています）と合わせますと、道東の一大観光ゾーンと一大産業ゾーンとが相まって、「とちかち帯広空港」の国際線・直行便創出の可能性も見えてきます。

以上、長い展開のお話になりましたが、自然環境や観光、未来の科学技術の進展の可能性だけではなく、とちかち・帯広に住む人々も、このような自然や「よさ」に恵まれ、明るくおおらかな気質と、温かい人情にあふれていることを是非お伝えしたいと思いました。最近、管外や道外から帯広・十勝に憧れ、移住してくる人、観光に訪れる人も多くなりつつあると言われていきます。ここは、そんな素敵な**ふるさと＝夢を育む大地（「とちかち・帯広」）**だと考えます。

・・・・・・・・（このシリーズは最終回です。ご愛読、誠にありがとうございました。）

